



# 六中だより

文京区立第六中学校 校長 小椋 孝  
<http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/dairoku-jh/>

【教育目標】 ○責任を重んじる ○学習に励む ○健康なからだをつくる ○美しい生活を求める

## 「緊急事態宣言の延長」に伴う対応について その3

### ◆◆◆ 文京区版学校感染症対策ガイドラインが改訂されました ◆◆◆

新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底するための指針であるガイドラインが、5月26日(水)に改訂されました。**主な改定点を下に太字で示しました**のでご確認ください。本校では、ガイドライン改訂の趣旨をとらえ、保健体育や運動部活動における状況をとらえたマスクの着用、清掃と手洗いのさらなる徹底を進めてまいります。また、現在のところ手洗いが適切に行われている状況であると判断できますので、放課後や部活動終了時に毎日実施していた消毒は、必要性のあるときに実施する形に変更しますので、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

#### 【主な改定点】

#### 1 感染症対策の徹底

##### (1) 児童・生徒等

ウ 児童・生徒等には、登校から下校まで、マスクを鼻と口を覆って着用させることが望ましい。ただし、以下の場合には着用しなくてもよい。

- ・ 食事や運動時（体育の授業中も含む）

※ **体育の授業においては、十分な身体的距離がとれない状況で、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクがない場合にはマスクを着用すること。**

- ・ 十分な身体的距離が確保できる場合
- ・ 熱中症などの健康被害が予想される場合
- ・ その他事情のある場合

##### (3) 校内環境

ア 昇降口付近や手洗い場、トイレ、教室など、校内の適切な箇所に石けんやアルコールを含んだ手指消毒薬を設置し、手指の衛生を保てる環境を整備すること。

**なお、一時的な消毒の効果を期待するよりも、清掃により清潔な空間を保ち、健康的な生活により児童・生徒等の抵抗力を高め、手洗いを徹底することの方が重要であることに留意すること。**

イ 換気は、天候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分間程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行うこと。

ウ 教室やトイレなど児童・生徒等が利用する場所のうち、特に多くの児童・生徒等が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は、1日1回以上、消毒液（消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウム等）を使用して清掃を行うなどして環境衛生を良好に保つこと。

**なお、児童・生徒等の手洗いが適切に行われている場合には、これらの作業を省略することも可能とする。**

### ◆◆◆ 緊急事態宣言の再延長に伴う対応について ◆◆◆

文京区教育委員会は、6月20日(日)まで緊急事態宣言が再延長されたことに伴い、次の対応を追加決定しました。生徒の皆さんにとっては、またもや残念なお知らせとなってしまいましたが、今後状況が良い方向に向かうことを信じて、一人一人が粘り強くできることに取り組み、全体の力として結集できるようにしていきましょう。

1 八ヶ岳移動教室については、6月28日(月)出発の学校までの予定を延期とします。

→ **2年生移動教室【6月14日(月)～16日(水)】が延期となりました。延期日程は改めて調整するとのことです。**

2 水泳指導が、「感染症対策を講じてもなお飛沫感染の可能性が高い学習活動」として追加されました。

→ **緊急事態宣言下では、水泳指導は実施できません。6月21日(月)以降については、今後の動向をとらえて判断することになりますので、改めてお知らせします。水着の準備等はそれを待つようにしてください。**

## 「東京子供応援協議会」講演（オンラインによるWEB配信）のご案内

東京都では、「東京子供応援協議会」を設置し、地域の様々な方々と協力しながら、青少年の健全育成に資する取組を推進しています。

毎年、次代の社会を担う青少年が心身ともに健やかに育成される社会の実現を図ることを目的に、健全育成の取組を実施している都民や区市町村・団体等が一堂に会して総会・講演等が開催されていますが、今年度は感染症対策の関係でオンラインによるWEB配信の形で実施されることになりました。

今般、「子どもたちの健やかな成長を願う多くの地域の皆様にぜひご視聴いただきたい」と、文京区教育委員会を通じて周知の依頼がありましたのでお知らせします。

### 東京子供応援協議会 講演のお知らせ

## 「子どもを主役に！」 ～地域の大人ができること～



牧野 篤 先生

#### 【プロフィール】

東京大学大学院教育学研究科 教授  
専門分野は中国近代教育思想、社会教育・生涯教育。日本のまちづくりや高齢化・過疎化問題等にも関心を広げ、自治体と共同で公民館活動のフィールドワークを実施するなど、多世代が交流する地域社会づくりの研究を行っている。講演多数。最近では、コロナ禍における気づきなども発信。

著書『人生100年時代の多世代共生(2020)』  
『公民館をどう実践してゆくのか(2019)』  
『社会づくりとしての学び(2018)』など。

#### 1 開催日時

令和3年6月24日（木曜日）  
午後1時30分から午後3時まで

#### 2 実施方法

オンラインによる実施（WEB配信）

#### 3 内容

##### (1) 開会挨拶

東京子供応援協議会会長  
東京都知事 小池 百合子  
(ビデオメッセージ)

##### (2) 基調講演

牧野 篤 氏  
(東京大学大学院教育学研究科)

##### (3) 東京都からの報告

#### 4 視聴方法

以下のURLより御視聴ください。

<東京子供応援協議会ページ>  
[https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/chiiki\\_tabunka/seishounen/kyougikai/](https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/chiiki_tabunka/seishounen/kyougikai/)



よろしければ、  
下のQRコードを  
ご利用ください。

子どもたちの健やかな成長を願う多くの地域の皆様に  
御視聴いただけますよう、よろしくお願いいたします。



#### 【問合せ先】

東京都 生活文化局 都民生活部 地域活動推進課  
地域活動推進担当 TEL：03(5388)3187

